

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	7011
-----------	-----------	------

事務事業名	伊賀南部環境衛生組合一般会計		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
伊賀南部環境衛生組合事務局	総務室	井面 清司	53-1120
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施策	3	廃棄物処理
	小施策		
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード
伊賀南部環境衛生組合一般会計	(中事業名)
款	
項	(小事業名)
目	

3. 事務事業の概要

事業概要
<ul style="list-style-type: none"> ・組合事務の処理及び廃棄物処理施設を管理する。 ・管内の燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみを収集する。 ・名張市内の家庭ごみの中継し、運搬する。 ・管内のごみをクリーンセンターで焼却処理、または分別リサイクル処理する。 ・ごみ最終処分場の管理運営 ・管内のし尿及び浄化槽汚泥を処理する。 ・旧伊賀南部清掃工場を解体撤去する。

めざす効果(事業目的)
<p>資源循環型社会の構築を目指して、環境に配慮した安全かつ適正な廃棄物の処理を推進します。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)				
				市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・組合事務、廃棄物処理施設の管理 17,166千円 ・ごみ(可燃・不燃・資源)収集業務(直営7台、委託4台) 198,481千円 ・クリーンセンターの運営管理業務 351,123千円 ・最終処分場の施設管理業務 12,265千円 ・し尿処理場の運営管理業務 188,033千円	[事業内容(事業量)・事業費] ・組合事務、廃棄物処理施設の管理 21,967千円 ・ごみ(可燃・不燃・資源)収集業務(直営6台、委託5台) 222,193千円 ・クリーンセンターの運営管理業務 380,476千円 ・最終処分場の施設管理業務 18,530千円 ・し尿処理場の運営管理業務 198,085千円 ・旧清掃工場の解体撤去業務 182,000千円	平成23年度(計画)	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)		
			・ごみ収集(直営6台、委託5台) ・クリーンセンター運営管理(リサイクルを委託) ・最終処分場管理 ・し尿処理場運営管理 ・旧清掃工場解体及びストックヤード建設	・ごみ収集(直営6台、委託5台) ・クリーンセンター運営管理 ・最終処分場管理 ・し尿処理場運営管理 ・ストックヤード施設管理	・ごみ収集(直営5台、委託6台) ・クリーンセンター運営管理 ・最終処分場管理 ・し尿処理場運営管理 ・ストックヤード施設管理		
事業費(千円)	1,188,612	1,406,822	1,461,700	1,392,860	1,398,300		
の財源内訳							
国庫支出金	813	61,100	83,400				
県支出金							
地方債		109,400	164,700				
その他(手数料・諸収入等)	349,391	272,130	240,000	239,500	238,000		
一般財源	838,408	964,192	973,600	1,153,360	1,160,300		
人工数							
職員(人)	51.0	52.0	49.0	45.0	44.0		
臨時職員等(人)	22.0	20.0	6.0	10.0	7.0		
人件費(千円)	453,058	489,878	502,500	428,100	394,600		
総費用+(千円)	1,641,670	1,896,700	1,964,200	1,820,960	1,792,900		

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	72.0
	実績		69.4	71.8			
成果指標	目標	%	-	-	-	-	78.0
	実績		73.1	76.7			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	順調に目標を達成できている。 引き続き、事業を推進し、より良い成果を得られるよう努める。						

6. 事業を取り巻く環境

<p>事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)</p> <p>・正職員や再任用職員の退職により、クリーンセンター運営管理業務のうち、リサイクル部門を民間委託に移行予定。 ・名張市の「ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム」に基づき、生ごみ及び草木類の資源化への取組みにより燃やすぐみの減量化が促進される。</p>	<p>市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</p>
---	---------------------------------

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか <input type="text" value="実践していない(適当ではない) (へ)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text"/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="市が直接実施"/>
	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)"/>	委託(地域団体・NPO・事業者等)など実施手法の変更により成果向上を図る。
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)"/>	名張市ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムとの連携・推進により、ごみの減量化を図る。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)"/>	温浴施設の有料化や収集車搭載広告など財源確保の新たな取組みを図る。
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)"/>	ごみの減量化や徹底分別にかかる、より一層の市民啓発に取り組む。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

<p>総合評価(事業の展開方法)</p> <input type="text" value="継続(事務改善) (今後の展開方法 (1)・(2)へ)"/>	特記事項
<p>(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など</p> <input type="text"/>	
<p>(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など</p> <p>引き続き、職員退職者の不補充により、収集業務をはじめとする業務の民間委託を推進する。</p>	